

Web空間の労働における労使関係と言葉

アンドレイ・ベケシュ (Andrej Bekeš)

リュブリャナ大学名誉教授

シンポジウム

『ビジネス日本語の研究と教育－文書改善に必要な条件を探る－』

2021年9月25日

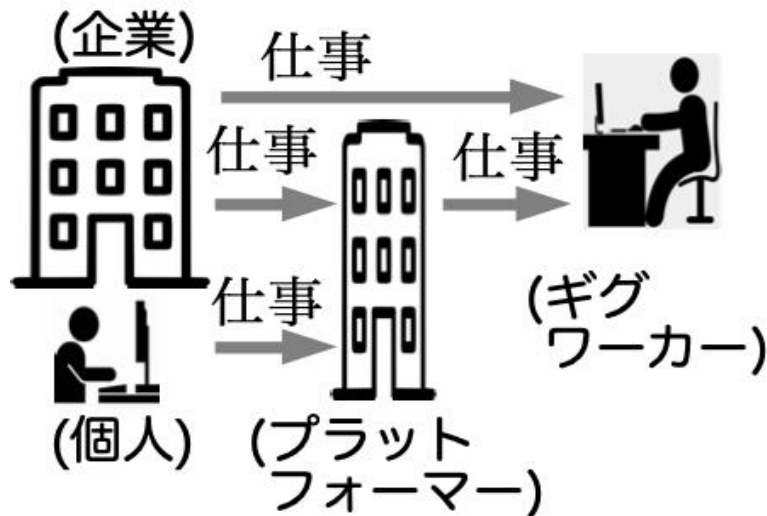
- 流れ：
1. 新しい雇用形態：クラウドソーシング
 2. 光あるところに影がある：クラウドソーシングの問題点
 3. 発注者と受注者の力関係
 4. クラウドソーシングと言葉
 5. まとめ

1. 新しい雇用形態：クラウドソーシング

☆ WEBとともに登場

▶長所

- ・ 仕事の割り振り：効率的
- ・ 勤務時間,場所: 柔軟
- ・ 専門性==>
高単価の仕事の可能性、高い
- ・ 失業率の低下のポテンシャル



朝日新聞朝刊 2019.11.17を元に

→ 急成長、政府も積極的に支援 (cf. 東京新聞)

2. 光あるところに影がある：クラウドソーシングの問題点

☆ クラウドソーシング：

法令の空白を利用した新しい雇用形態

▶ 報道に見られる批判（i）：低い報酬、長時間労働

- ・ 副業貧乏に内職地獄? ネット・ワーカー”残酷物語

NHK 「"クローズアップ現代+"」 2017.2.1 :

- ・ <働き方改革の死角> ネット内職,報酬低すぎ…

東京新聞(朝刊) 2019.4.14

- ・ Amazon のクラウドソーシング「Mechanical Turk」の光と闇

時給数十円、タダ働きも横行。

GIZMODO.JP WEB雑誌 2020.02

▶ 報道に見られる批判 (ii) : 働き手としての基本権利の保証問題

➡ 社会へのしわ寄せ

・ <働き方改革の死角> 巨大ITに「個」苦戦

ウーバーイーツ配達員 団交門前払い

東京新聞(朝刊) 2019.12.6

・ ..Companies like Uber are hitting the turbulence of government regulation, worker resistance and labor market reality

New York Times 2019.9.15 :

▶ 報道に見られる批判 (iii) : 仕事におけるトラブル

トラブルの内容	割合 (%)
報酬の支払いが遅れた	12.5%
仕事の内容・範囲でもめた	10.5%
報酬が一方的に減額された	10.4%
仕様を一方的に変更された	8.4%
報酬が全く支払われなかった	7.8%
作業期間や納品日の一方的変更	6.9%
仕事開始後、契約を打ち切られた	5.6%
自分のアイデアが無断で使用された	4.1%
予定外の費用負担を求められた	4.1%

(東京新聞 朝刊 2019.4.14)

☆デメリット

- ・ 最低賃金や労災、失業手当など
労働関係法令、不適用
- ・ 専門性を必要としない発注 ==>
単純で低賃金の仕事になりがち
- ・ 発注者、WEBアプリ運用会社のマージンの増加

さらに：

cf. 朝日新聞 (朝刊) 2019.11.17

「ネット単発労働：自由と不安と」

cf. 東京新聞 (2019.4.14)：＜働き方改革の死角＞

▶ 2020~21: 当局の態度に変化:

- ・ 絶賛から、労働基準尊重へ
- ・ カリフォルニア、スペイン、... :
UBERなどを対象に
 - いくつかの裁判でドライバー、配達員などの労働者としての権利を義務化
BBC.com 2019.09.11 California passes landmark gig economy rights bill)
 - TheGUARDIAN.com 2021.07.31 Deliveroo unveils plans to pull out of Spain in wake of 'rider law'
- ・ 問題: 限られた分野、限られた地域

▶ プラットフォーム運営の可能性

当事者によるプラットフォームを運営 cf. 斎藤(2021)

スペインでの試み: ドライバー、配達員の組合がプラットフォーム運営する動き

3. 発注者と受注者の力関係

- ・ 根本的不均衡：金銭的側面の統制→発注者
受注者→発注者に依存

例：一方的な報酬の切り下げ

(cf. 東京新聞、2019年12月6日 朝刊)

- ・ 発注者が強い==>「上から目線」という傾向・ 発注の仕事の付加価値・報酬の影響：

「高い」 ==> 受注者の交渉力↑

「低い」 ==> 受注者の交渉力↓

(cf. Muthoo 1999)

クラウドソーシングの表象



(左) 建前：横の関係 (=⇒平等)

(右) 本音：縦の関係が明確 (上下関係)

4. クラウドソーシングと言葉

☆ 総合的印象の質的分析（青木・ベケシュ）：

・ CW社のHPからとった発注文の無作為サンプル20件：

- 言語表現の特徴：

発注文書の「総合的印象」：「高」，「中」，「低」

==> 約7割： 「低」（=悪文）

==> 低い評価（悪文）： 付加価値、報酬の「低」と相関

☆ 悪文と情報の量と質 (cf. 石黒(編) 2020) :

- ・ 文書の問題点：情報の量と質との関わり
 - 情報の質的と量的側面についての(石黒 2017)の指摘に従わない
 - Grice (1975) の協調原理 (量と質の格率 maxims) に違反している

質的分析 ==> 社会文脈的要素との相関：

低い付加価値、

低い報酬、

短い期間

4. まとめ

▶ クラウドソーシング：

- ・ 可能性に満ちている新しい雇用形態
- ・ 発注文章：研究のための優れた資料
=> 興味深い研究成果にさらに期待

▶ 現時点で問題有り：

- ・ 労働関係法令の盲点・死角
- ・ 一部、改善の具体的な動きも見られる
=> 発注者と受注者の力関係のアンバランス

▶ 発注者と受注者の力関係と言葉：

- ・ 発注文章の特徴：一定の社会文脈の中で「受注者なし」の例との相関

▶ 今後の課題・クラウドソーシングの社会的ポテンシャルを生かすために：

- ・ 研究姿勢： 徹底した学際的研究（言語、社会、法律）
- ・ 政府当局： 関連法令の整備が必須

参考文献

- Bourdieu, Pierre (1991) *Language and Symbolic Power*. John B. Thompson (ed.) , Gino Raymond and Matthew Adamson (transl.). Cambridge: Polity Press
- Fairclough, Norman (1989) *Language and power*. London: Longman.
- Fairclough, Norman (2012) 『ディスコースを分析する—社会研究のためのテキスト分析—』、東京：くろしお出版
- Grice, H. Paul 1975. *Logic and conversation*. In: Peter Cole and Jerry Morgan (eds). *Syntax and Semantics 3: Speech Acts*, pp. 41-58. New York: Academic Press.
- Halliday, M. A. K. (1978) *Language as Social Semiotic: The Social Interpretation of Language and Meaning*. London: Edward Arnold.
- Hart, Christopher (2016) *Discourse, grammar and ideology: functional and cognitive perspectives*. London: Bloomsbury.
- Hasan, Ruqaiya (2009) *The place of context in a systemic functional model*. In M.A.K. Halliday and Jonathan J. Webster (eds.) *Continuum Companion to Systemic Functional Linguistics*, pp. 166-189. New York: Continuum.
- Hodge, R. & G. Kress (1988) *Social semiotics*. NY: Cornell University Press.
- 石黒圭 (2017) 「2. 文章とは何か—日本語の表現面から見たよい文章—」 李在鎬編 『文章を科学する』 ひつじ書房、pp.14-37
- 石黒圭・岩田一成・蒙韞 (韞) ・青木優子・浅井達哉 (2018) 「クラウドソーシングを用いたビジネス発注文書の質的分析試論」 『2018年度日本語教育学会秋季大会予稿集』 pp.29-38

- 石黒圭（編）（2020）『ビジネス文書の応用言語学的研究—クラウドソーシングを用いたビジネス日本語の多角的分析』、ひつじ書房
- 熊野建志(2020)「クラウドソーシングの登場による仕事革命」、第1章、石黒（編）（2020）
- 斎藤幸平(2021)『人新世の「資本論」』集英社新書
- 水野貴之（2015）「クラウドソーシングは失業問題を解決できるか」、『国立情報学研究所ニュース [NII Today] 』 第70号 pp.12
- Muthoo, A. (1999). Bargaining Theory with Applications. Cambridge, U.K.: Cambridge University Press.

関連URL

田村誠志 (2014)、「クラウドソーシングの法律問題（3）身を守るために」<<http://ashitabam.tam.hatenablog.com/entry/2014/04/26/013829>>2019.6.17

メディアでの報道

- 朝日新聞 (朝刊) 2019.11.17, p.4：「ネット単発労働：自由と不安と」
- BBC.com 2019.09.11 “California passes landmark gig economy rights bill”
- New York Times 2019.9.15. "Maybe We're Not All Going to Be Gig Economy Workers After All: Companies like Uber are hitting the turbulence of government regulation, worker resistance and labor market reality"
- NHK 「"クローズアップ現代+"」 2017年2月1日(水) 『副業貧乏に内職地獄？“ネット・ワーカー”残酷物語』（<https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/3927/index.html>）
- TheGUARDIAN.com 2021.07.31 “Deliveroo unveils plans to pull out of Spain in wake of ‘rider law’”

東京新聞(朝刊) 2019.4.14 : <働き方改革の死角>ネット内職、報酬低すぎ 自由・手軽…実は過酷
(<https://www.tokyo-np.co.jp/article/economics/list/201904/CK2019041402000154.html#print>)

東京新聞(朝刊) 2019.12.6 : <働き方改革の死角>巨大ITに「個」苦戦 ウーバーイーツ配達員 団交門前払い
(<https://www.tokyo-np.co.jp/article/economics/list/201912/CK2019120602000124.html>)

ご静聴、有り難うございます